

令和3年度

まちづくり推進部 平鹿地域局の方針書

組織名	まちづくり推進部 平鹿地域局
所属長名	齋藤 美和子

1. 組織の使命(ありたい姿)

地域の身近な行政サービスの拠点として、的確に・迅速に・丁寧に対応します。

2. 組織の抱える課題(現状)

- ①お客様の満足度を高めるための職員の接遇マナー及び能力のスキルアップ
- ②少子高齢化による地域力の低下と高齢者の健康及び生きがいづくり
- ③少子高齢化やコロナ禍、そして豪雪被害による産業・観光の衰退

3. 今年度の『スローガン』

ずっと住みつづけたい『まち』へ！
～そのためにどうあるべきか、一人ひとり考え、意識しつづけよう～

4. 今年度の方針

- ①市民から親しまれ、信頼される地域局を目指します。
- ②安全・安心で、心身ともに健やかに暮らせる生活を支援します。
- ③地域の特性を活かした魅力ある産業・観光を支援します。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	市民から親しまれ、信頼される地域局
	取組内容	①あいさつや声掛けにより、親しみやすい職場づくりを目指します。 ②多様化するニーズに的確に迅速に対応し、丁寧で分かりやすい説明をします。 ③情報共有により、機動力を高めます。
(2)	実現したい成果	安全・安心で、心身ともに健やかに暮らせる生活
	取組内容	①「火災予防・交通事故防止・防犯」の啓発に取り組み、地域住民の意識付け向上を目指します。 ②自治組織の活性化や通いの場などの自主活動を支援します。 ③公共施設等の安全・安心な利用のため適切な維持管理を進めます。 ④豪雪による地域事情の検証と実現可能な対策を講じます。
(3)	実現したい成果	地域の特性を活かした魅力ある産業・観光の振興
	取組内容	①古き良き地域の伝統・文化を次世代へ継承し、地域振興及び活性化につなげます。 ②イベント等事業内容の充実、及び効果的な情報発信により、まちの賑わい創出を図ります。 ③コロナ禍や豪雪による大きな被害を受けたを産業・観光に寄り添い、復興に向けたサポートを行うとともに、施策へとつなげます。

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1) 市民から親しまれ、信頼される地域局
 - ・明るいあいさつ、平易な言葉づかいで来庁者の皆さまに丁寧に対応している。
 - ・地域局連絡調整会議及び各課との打合せ等により情報共有を行い、懸案事項について課題解決に向け取り組んでいる。
- (2) 安全・安心で、心身ともに健やかに暮らせる生活
 - ・新たな空き家の把握を迅速に行うため、一人暮らし高齢者等の転居や亡くなられた際に窓口に手続きに来られた親族等に今後の管理の予定についての調査に着手した。
 - ・年度初めに野焼きによる火災が多く発生したことから、消防団と連携し巡回による啓蒙活動を行った。
- (3) 地域の特性を活かした魅力ある産業・観光の振興
 - ・『あやめまつり』については感染状況を踏まえ期間を短縮したものの、感染防止対策を徹底のうえイベントを開催した。予想以上に多くの方にご来場いただき好評を得ることができた。
 - ・農業関係の雪害補助金申請への対応を丁寧に行うなど、水稲や果樹、園芸作物再興に向けたサポートを行っている。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1) 市民から親しまれ、信頼される地域局
 - ・窓口アンケートでのご意見も踏まえ、市民サービスの充実・向上に取り組んでいく。特に、実施方法が変更になる「高齢者等雪下ろし費用助成事業」については、対象者の方の戸惑いが大きいと予想されるため、分かりやすい説明など丁寧な支援を行う。
 - ・高齢者世帯等訪問(民生委員、保健師等)を行い、生活状況を把握するとともに個別の相談に応じていく。
- (2) 安全・安心で、心身ともに健やかに暮らせる生活
 - ・高齢化が進む中、豪雪地帯での安全で安心な暮らしが市の重要な課題となっている。道路等除雪作業員の確保に取り組むとともに、10月に協働のまちづくり会議を開催し、地域内、集落内等の共助取組みへの足掛かりとしていく。
- (3) 地域の特性を活かした魅力ある産業・観光の振興
 - ・地域の伝統的なイベント(行事)について、今後も感染状況を見極めながら可能な限り実施し、次世代へつないでいく。
 - ・コロナ禍や豪雪により大きな被害を受けた農商工業従事者に対して、本庁と連携し支援していく。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- 重点取組項目(1)「市民から親しまれ、信頼される地域局」
- ・明るく気持ちの良いあいさつ、安心して話しやすい窓口体制の充実を図ってきており、市民の皆さまから度々感謝の声をいただいている。適正で迅速な事務処理を行うとともに、窓口アンケートも実施するなど職員の振り返りも行っており、今後も対応力向上に努めていく。
- 重点取組項目(2)「安全・安心で、心身ともに健やかに暮らせる生活」
- ・コロナ禍のなか、高齢者や社会的弱者を孤立させることのないよう、民生児童委員の皆さまと見守り訪問活動など実施してきた。また、空き家対策については、新たに空き家になると見込まれる状況になった家屋についてのアンケートを開始するなど課題対策に取り組んでいる。
 - ・道路パトロールや職員の移動中の随時点検、及び速やかな対応により、道路の穴ぼこ等による事故は発生していない。今後とも市民が安全・安心に過ごせるよう公共施設等の管理点検に注力していく。
 - ・令和6年度に浅舞地区の地区交流センター立ち上げを目指しており、今後住民向けの講演会、ワークショップを進めていく。
- 重点取組項目(3)「地域の特性を活かした魅力ある産業・観光の振興」
- ・コロナ禍のなか、『あやめまつり』や『槻の木光のファンタジー』の規模縮小開催を余儀なくされたが、多くのお客さまにご来場いただくなど、地域活性化に少しでもつながったものとする。各イベント開催後は検証を行い、次年度の開催につなげることとして進んでいる。2年連続して中止となった『八幡神社祭典』や今年度中止となった『りんご味覚まつり』などについては、事業実施のノウハウ継承に努めていく。
 - ・豪雪により大きな被害を受けた農業者等に対し、補助金申請等への丁寧な説明と対応により、復興に向けた一助となるよう努めた。